

平成27年度行政事業レビューシート (金融庁)

事業名	市場の公正確保のための経費			担当部局庁	証券取引等監視委員会事務局	作成責任者		
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課	水口 純		
会計区分	一般会計			政策・施策名	政策Ⅲ…公正・透明で活力ある市場の構築 施策3…市場取引の公正性・透明性を確保するための制度・環境整備 施策4…市場仲介機能が適切に発揮されるための制度・環境整備			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	—			
主要政策・施策				主要経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	金融・資本市場における情報の収集・分析や検査、調査等の市場監視活動のための環境整備を行うことで、効率的・効果的な監視活動を実施し、市場取引の公正性・透明性を確保して、投資者の保護を図ること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○ 金融取引が高度化・複雑化し、市場が激しく変動する中で、機動的な市場監視を実施するために有用な情報を収集するための体制として、ポスターやリーフレットにより一般からの情報提供窓口への情報提供を呼びかけるとともに、情報提供窓口に係る所要の整備を図る。(ポスター及びリーフレットについては平成26年度で終了。)</p> <p>○ 金商法改正に伴う課徴金の対象拡大や不正取引の複雑化等に対応するため、電磁的記録の保全・復元・解析等(デジタルフォレンジック)といった検査・調査支援のための環境を整備する。また、インターネット上のサイトを巡回してデータを蓄積し、金融商品取引情報の検索を可能とすることで、効率的な市場監視のための支援となるインターネット巡回監視システムの運用を図る。</p>							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	20	61.4	64.9	84	75	
		補正予算	—	—	▲0.2	—	—	
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—	
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—	—	
		予備費等	—	—	—	—	—	
		計	20	61.4	64.7	84	75	
		執行額	16	60.5	59.9			
	執行率(%)	80%	99%	93%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	迅速・効率的な検査・調査等を行うための環境整備を行うことにより、機動的な市場監視を実施する。 ※目標値については前年度の件数を参考値として記載。	勧告件数	成果実績	件	62	70	66	
			目標値	件	45	62	70	66
			達成度	%	137.8%	112.9%	94.3%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	迅速・効率的な検査・調査等への対応に向けた取り組みにより機動的な市場監視を実施 ※活動実績については取引審査件数及び証券検査件数の合計を記載(証券取引等監視委員会分)。 ※当初見込みについては前年度の件数を参考値として記載。	活動実績	件	448	458	501		
		当初見込み	件	434	448	458	501	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額/(取引審査件数+証券検査件数)	単位当たりコスト 千円	千円	35	132	115	167	
		計算式	千円/件数	15,827/448	60,510/458	57,603/501	83,589/501	
内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	情報処理業務庁費	70	62	○前年度限りの経費を要求しないこと等による減。 (情報処理業務庁費:▲8百万円)				
	非常勤職員手当	14	13					
	金融政策推進業務庁費	0	0					
計	84	75						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	市場取引の公正性・透明性を確保することは、投資者保護の観点から、国民のニーズに合致するものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	市場取引の公正性・透明性を確保のため、一般から広く情報提供を呼びかけることや、デジタルフォレンジック等の支援ツールにより迅速・効率的な検査・調査等を行うための環境整備を行う当該事業は、国が実施すべき、優先度の高いものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	上記のとおり。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	平成26年度のデジタルフォレンジック関連機器の整備等に当たっては、一般競争入札及び公募の実施により、競争性が確保されている。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	証券取引等監視委員会が行う検査・調査等については、投資者保護上の観点から、投資者全体の利益に資するため、国費負担により実施しており、その支援環境となる当該事業についても同様である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	—
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	—
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	予算の確保等に際し、実績等を踏まえ、真に必要なものに限定するよう努めている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	—
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	—
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	—
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	必要に応じた課徴金命令の勧告や犯則事件としての告発等を実施し、厳正な対処を図っており、適切である。
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	作成した情報提供を広く募るためのポスター及びリーフレットを関係諸団体に対し配布しているほか、インターネット上の金融商品取引に関する情報の巡回監視システム等のツールからの情報を、効率的な検査・調査等に有効活用している。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
点検・改善結果	点検結果		<p>下記のとおり、市場の公正確保のため証券取引等監視委員会が行う証券検査・調査等に係る支援環境整備のための経費については、迅速・効率的な検査・調査等を行うために不可欠であり、28年度も同予算の確保が必要である。</p> <p>○ 情報提供窓口整備に係る経費については、平成26年11月に情報提供を広く募るためのポスター及びリーフレットを関係諸団体に対し配布し、情報提供窓口への情報提供を呼びかけを実施。また、あわせて情報提供窓口に係る所要の整備を行った結果、平成26年上半年(4～9月)に情報窓口への情報受付件数が2,726件であったのに対し、リーフレット等の配付後の下半期(10～3月)において2,962件と、一定の情報提供数の増加が図られ、これらの情報を検査の企画・立案に活用している。</p> <p>○ デジタルフォレンジックに係る経費については、近年、投資家保護上重大・悪質な事案が増加する中(例えば、無登録業者等に対する裁判所への禁止命令等の申立て実績は25年度2件に対し、26年度6件に増加)、実際の検査・調査等において証拠隠滅が謀られたデータ等の保全や復元、解析等を行い、証拠化するデジタルフォレンジックの活用頻度は年々増加している。現在、証券取引等監視委員会が行う課徴金調査や犯則調査では、大半の事案で実施されている。</p> <p>○ インターネット巡回監視システム等に係る経費については、インターネット上のサイトを巡回してデータを蓄積し、金融商品取引情報の検索を可能とするインターネット巡回監視システムの活用や、企業・産業分析情報等の情報収集・分析ツールの活用により、必要に応じた課徴金命令の勧告や犯則事件としての告発等につながっている。</p>
	改善の方向性		デジタルフォレンジック関連機器の調達や情報分析ツールの利用等に際しては、費用対効果を踏まえ、必要性、優先度等を総合的に勘案した上で予算を確保・執行していく必要がある。

外部有識者の所見

(外部有識者点検対象外)

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

- 情報提供窓口整備に係る経費については、ポスター等を見た一般投資家等からの情報提供が増えているほか、検査の企画・立案に活用されており、市場取引の公正性・透明性を図るため必要と認められる。
- デジタルフォレンジックに係る経費については、証拠隠滅が謀られたデータ等の保全・復元等を行い証拠化することで更なる課徴金納付命令の勧告や告発等に結びつくと考えられることから、市場取引の公正性・透明性を図るため必要と認められる。
- インターネット巡回監視システム等に係る経費については、当該情報収集・分析ツールの活用により不正取引を発見する端緒の一つとなっていると考えられることから、市場取引の公正性・透明性を図るために必要と認められる。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

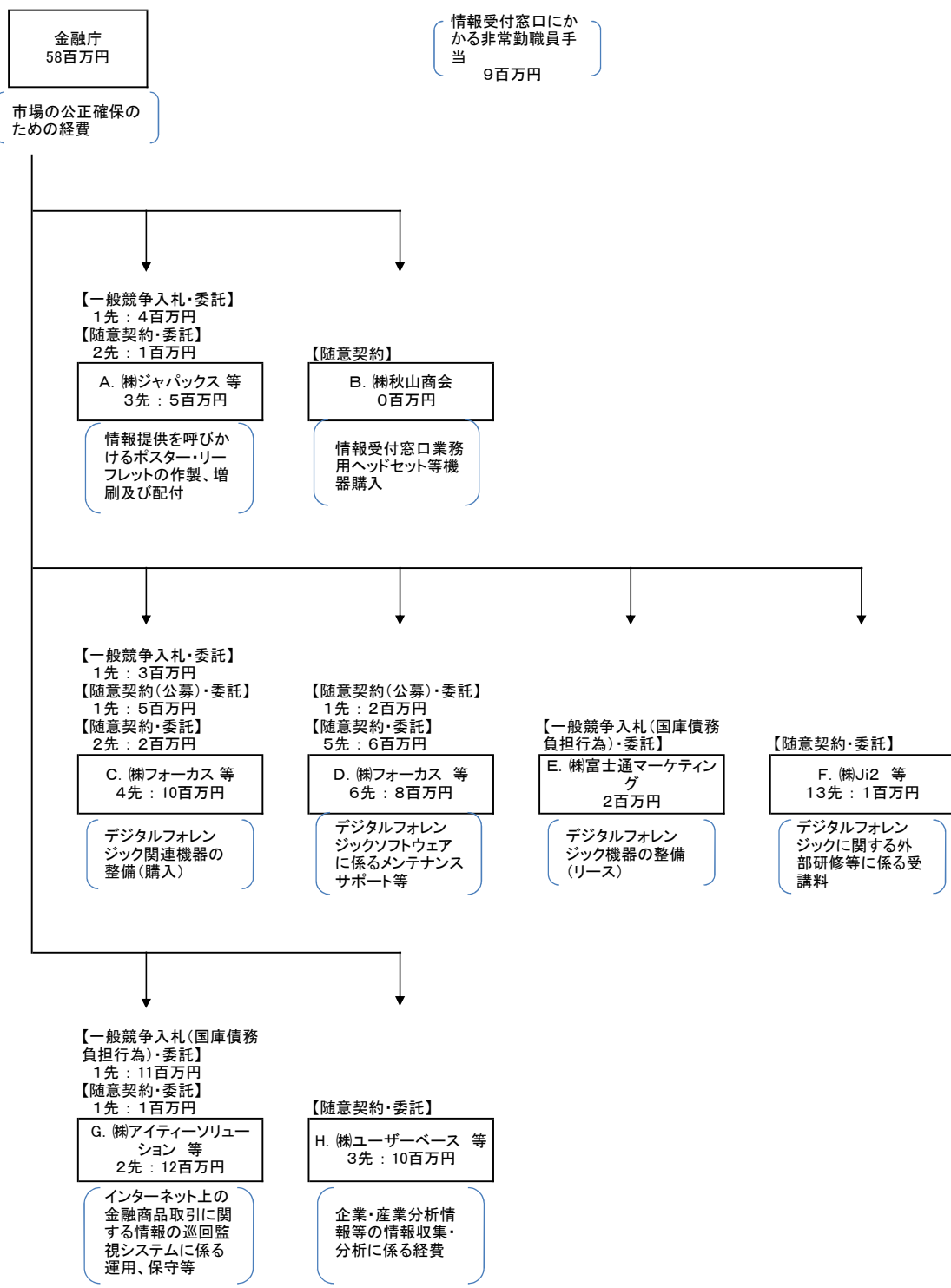
- 情報提供窓口整備に係る経費については、ポスター・リーフレットの作成は終了しているものの、引き続き情報受付窓口の整備を図り、検査の企画・立案に活用する必要があることから、情報受付窓口業務員に係る経費としての予算を要求する。
- デジタルフォレンジックに係る経費については、当該システムを引き続き有効活用していく必要があるところ、費用対効果を踏まえ必要性・優先度を総合的に勘案した上で、整備や保守・運用に係る費用としての予算を要求する。
- インターネット巡回監視システム等に係る経費については、当該システムを引き続き有効活用していく必要があることから、システム利用に係る経費としての予算を要求する。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	5	平成23年度	6	平成24年度	6	
平成25年度	6	平成26年度	6			

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.株)ジャパックス			E.株)富士通マーケティング		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
印刷・製本費	一般からの情報提供を呼びかけるポスター・リーフレットの作製	4	賃貸料	デジタルフォレンジック機器等に係る賃貸借	2
印刷・製本費	上記ポスター・リーフレットの増刷	1			
計		5	計		2
B.株)秋山商会			F.株)Ji2		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	※100万円未満			※100万円未満	
計		0	計		0
C.株)フォーカス			G.株)アイティソリューション		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費	デジタルフォレンジック機器の整備	5	事業費	インターネット上の金融商品取引に関する情報の巡回監視システムに係る運用・保守	11
計		5	計		11
D.株)フォーカス			H.株)ユーザーベース		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費	デジタルフォレンジックソフトウェアに係るメンテナンスサポート等	6	事業費	企業・産業分析情報の収集・分析ツールの運用経費	5
計		6	計		5

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジャパックス	一般からの情報提供を呼びかけるポスター・リーフレットの作製	4	3	—
2	(株)ジャパックス	一般からの情報提供を呼びかけるポスター・リーフレットの増刷	1	随意契約	—
3	JPコミュニケーションズ(株)	一般からの情報提供を呼びかけるポスター・リーフレットの掲出・設置費用	0.5	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)秋山商会	情報受付窓口業務用ヘッドセット等機器購入	0.1	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)フォーカス	デジタルフォレンジック機器の購入	5	随意契約 (公募)	—
2	(株)秋山商会	デジタルフォレンジック関連機器の購入	3	2	—
3	(株)秋山商会	デジタルフォレンジック関連機器の購入	1	随意契約	—
4	(株)エンターオン	デジタルフォレンジック関連機器の購入	1	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)フォーカス	デジタルフォレンジックソフトウェアに係るライセンス更新等	4	随意契約	—
2	(株)フォーカス	デジタルフォレンジックソフトウェアに係るメンテナンスサポート	2	随意契約 (公募)	—
3	AOSテクノロジーズ(株)	デジタルフォレンジックソフトウェアに係るライセンス更新等	1	随意契約	—
4	(株)コア	デジタルフォレンジックソフトウェアに係るライセンス更新等	0.9	随意契約	—
5	住友電設(株)	デジタルフォレンジックソフトウェアに係るライセンス更新等	0.4	随意契約	—
6	(株)エージーテック	デジタルフォレンジックソフトウェアに係るライセンス更新等	0.1	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)富士通マーケティング	デジタルフォレンジック機器等に係る賃貸借	2	2	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)Ji2	デジタルフォレンジックに係るトレーニングの受講	0.4	随意契約	—
2	(株)UBIC	デジタルフォレンジックに係るトレーニングの受講	0.3	随意契約	—
3	新日本有限責任監査法人	デジタルフォレンジックに係るトレーニングの受講	0.2	随意契約	—
4	特定非営利活動法人 デジタル・フォレンジック研究会	デジタルフォレンジックに係るトレーニングの受講	0.2	随意契約	—
5	(株)サイバーディフェンス研究所	デジタルフォレンジックに係るトレーニングの受講	0.2	随意契約	—
6	特定非営利活動法人 新潟情報セキュリティ協会	デジタルフォレンジックに係るトレーニングの受講	0.1	随意契約	—
7	ISSスクエア	デジタルフォレンジックに係るトレーニングの受講	0	随意契約	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイティソリューション	インターネット上の金融商品取引に関する情報の巡回監視システムに係る運用・保守等	11	2	—
2	(株)ネットウエル	インターネット上の金融商品取引に関する情報の巡回監視システムの終了作業	1	随意契約	—

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ユーザベース	企業・産業分析情報等の情報収集・分析に係る経費	5	随意契約	—
2	(株)時事通信社	企業・産業分析情報等の情報収集・分析に係る経費	3	随意契約	—
3	EUREKAHEDGE PTE.LTD.	企業・産業分析情報等の情報収集・分析に係る経費	2	随意契約	—